

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	わくわくエジソン福島教室		
○保護者評価実施期間	2025年3月10日 ～ 2025年4月4日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	3
○従業者評価実施期間	2025年2月27日 ～ 2025年3月16日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの健康や発達の状況について情報共有が出来ている	連絡ノートや送迎時に保護者、学校と情報を共有し支援に繋げる 保護者・児童本人からの相談を教室会議等で共有	現在、土曜日に親子イベントを開催している（不定期） 土曜日以外の親子イベントを検討し、教室での活動や家の様子の違いなどを共有し、支援の幅を広げる
2	活動プログラムが固定化されないように工夫している	プログラム担当を固定せず、色々なプログラムを担当している	他教室との交流を広げ、プログラムの幅を広げる
3	安心感を持って通所している 通所を楽しみにしている	子どもからのプログラム内容のリクエストがあれば、反映している	新しいゲームや活動内容を提示し、子どもの興味の幅を広げる

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所、認定こども園、幼稚園、地域の他の子どもと活動する機会 父母の会の活動の支援、保護同士の交流の機会、兄弟への支援の機会 ペアレントトレーニングや家族参加の研修会や情報提供	地域の子ども会の活動が少なく、参加できるものが無い	区民祭りなど、スケジュールが合えば参加する 親子イベントのプログラムを増やす ペアレントトレーニングの開催
2			
3			